

芸北教育

芸北分校
広島県立加計高等学校

295号
令和元年
～8月～



芸分野球部完全燃焼

芸北分校野球部が1回戦で呉工業高校と対戦しました。結果は3対10(8回コールド)で敗退しました。残念ながら春の県大会のリベンジとはなりませんでしたが、おかげさまで34名の野球部員と、全校生徒、保護者、地域が一体となった試合ができました。雨が降り続ける中、最後まで選手諸君の健闘を称えるところにも、たくさんの御声援を頂きました皆様にお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

「感謝」

全国から入学できます！
女子下宿、男子寮完備。町より月一万円
の補助制度あり。見学随時可能。
(電話)〇八二六・三五・〇七二六

選手インタビュー

主将の今田 幸汰君

「まず、悪天候の中わざわざ足を運んでくださった方々応援してくださりありがとうございます。期待に応えるような結果を出す残すことはできませんでしたが最後まで芸北分校の野球を貫くことができました。地域の方々には日々会うたびに応援の言葉をいただいたりして感謝しかありません。自分達の代では結果で恩返しすることはできませんでしたがこれからの後輩達が想いを汲み取ってくれると思います。芸北分校で野球ができたことが僕にとってそして三年生全員にとっても財産だと思

います。これからも芸北分校野球部そして芸北分校のことを応援してくださいと幸いです。また来年もぜひ応援よろしくお願ひします。」



感謝

全校球技大会(バレー)

期末考査終了後は、恒例の全校球技(バレーボール)大会。体育の時間に練習した成果を発揮し、男女合同チームが一丸となって真剣かつ楽しくボールを追いかけてました。

優勝した藤田チームをはじめ、すべてのチームがお互いを認め合い、助け合いながら、熱戦を繰り広げました。



ジョン先生送別の会



初は寂しかったです。元気のよい芸北分校の生徒のおかげで助かりました。」の言葉が印

AL T のジョン先生が故郷のハワイに帰ることになりました。芸北分校、加計高校、千代田高校の3校が5年間にわたってお世話になりました。「僕は本当は最初は寂しかったです。元気のよい芸北分校の生徒のおかげで助かりました。」の言葉が印

象に残りました。ジョン先生の希望で「芸北の空」を合唱しました。ハワイの空を見上げながら是非とも芸北の空を思い浮かべてください。将来、ハワイに行く時があったら必ず連絡しますね。



サマーセミナーin芸北

夏休み恒例のサマーセミナーを芸北中学校3年生と合同で実施しました。芸北分校の卒業生で大学や芸北地域にお

いて活躍している先輩方、また、多くの方のご縁でお越しいただいた多数の方の参加を頂き、専門分野の講義とともに地域社会の今後や芸北分校の未来について



熱く語って頂きました。また、



大学や専門学校と連携して、体験型授業ガイダンスを実施し、生徒の「学ぶ意欲」進路意識の向上につながりました。芸分の公式ツイッターにも様子を

掲載しています。是非、ご覧
ください。

新生徒会執行部リーダー 研修会

7月24、25日の二日間、加
計高校と合同のリーダー研修
会を広島市の三滝少年自然の
家で開催しました。

研修の目的は、「交流会を通
して他校との交流を図るとも
に連携を深める」「リーダー
としての自覚を持ち、これか
らの生徒会活動に積極的に取
り組む」として、「リーダーと
して大切なことは何か」を皆
でじっくり考え、「コミュニケ
ーション力の大切さを実感し
ました。

生徒の感想

●芸分と加計高は対照的だと
感じた。お互いをリスペクト
して今後さらに芸分を盛り上

げていきたい。

●自己紹介の大切さがよくわ
かった。言葉だけでなく相手
に言いたいことを伝える方法
を学んでいきたい。

●2年生が引っ張ってくださ
る姿を見て、自分も生徒会の
一人として頑張ろうと思った。



「8月6日」を想う

広島市中区の繁華街で続く毎月6日の
被爆証言会「原爆の語り部」の特別版が同
区のライブハウスであった。証言会は、2
年前に37歳で亡くなったバーテンダー富
恵洋次郎さんが始め、仲間が思いを継いで
いる。今回の証言者は、野球解説の張本勲
さんの姉、小林愛子さん……。

(8月5日中国新聞より)

2年前に亡くなった彼は、高校時代、広
島商業野球部で4番バッターだった。大学
に進学後、自分の生き方を見つけ出し、こ
の平和活動を13年前から実行している。私
も何度か参加した。彼が病床で記した著書
「カウンターの向こうの8月6日」(光文
社)は、「広島本大賞」ノンフィクション
部門で大賞を受賞した。

高校時代の彼を思い浮かべながら想う
ことは、誰が何と言おうと自分自身が納得
するまで実行する姿である。平和を考える
とき、毎月6日が来るたびに、彼のことを
思いだす。折しも、彼は被爆3世である。
私は被爆2世である。広島県民として、よ
り一層の自覚と責任が必要である。教え子
から学ぶことはたくさんあるものである。

今月の教訓

「我以外、皆、我が師なり」

太公望球児